

## 2026年度 科目別 授業計画(シラバス)

|   |   |  |   |          |         |          |                 |
|---|---|--|---|----------|---------|----------|-----------------|
| 科目名   | 国家試験対策  | 必修<br>選択   | 必修  | 年次       | 2       | 開講区分     | 2セメスター(後期)      |
| 学科・専攻   | 美容師科  | 授業<br>形態   | 講義  | 単位<br>時間 | 3<br>90 | 曜日<br>時限 | 金<br>1・2・3・4    |
| 教員  | 諸岡功明  | 【教員実務<br>経験】   | 大学院博士課程において、教育学を専攻したのち、本校のみならず様々な高等教育機関で実践を行いました。本校においては10年以上国家試験対策に従事しています |          |         |          |                 |
| 【到達目標】  | 筆記の国家試験における関係法規分野を中心に、周辺の頻出問題のポイントを理解し、同分野の過去問の演習を行うことで、過去問において正答率8割以上をとることができるようになる。それを通して、公衆衛生の向上に寄与しうるような美容師になるために、必要な知識を身につける       |  |   |          |         |          |                 |
| 【授業の学習内容】<br>国家試験に必要な知識、テクニックを当該教科だけでなく、関係する他教科の分野まで身に着けることができます  |   |  |   |          |         |          |                 |
| 週   | 授業形態  | 授業計画・内容  |   |          |         |          | 小テスト・中間テスト・定期試験 |
| 1   | 登校  | 美容師法で問題となる期間についてポイントを理解する。以下について国家試験で正答できる知識を身につける。①行政事務の主体 ②美容師と病気    |   |          |         |          |                 |
| 2   | 登校  | 前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる                          |   |          |         |          | 小テスト5点          |
| 3   | 登校  | 条例で追加して定めることのできる3つの事柄について、それぞれの同異点について理解する                             |   |          |         |          |                 |
| 4   | 登校  | 前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる                          |   |          |         |          | 小テスト5点          |
| 5   | 登校  | 美容師の法的な職務である公衆衛生について、とくに注意が求められる保健所、管理美容師、立ち入り検査制度及び生衛法についてポイントを確認する   |   |          |         |          |                 |
| 6   | 登校  | 前回の分野の過去問を演習することで、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる                          |   |          |         |          | 小テスト5点          |
| 7   | 登校  | 処分と罰則についてのポイントを確認し、過去問演習を通じて同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる                |   |          |         |          |                 |
| 8   | 登校  | 以下のポイントについて再確認し、それについての国家試験の過去問に正答できる。①美容師法と関係法規 ②美容師法と数字 ③これが出たら×シリーズ |   |          |         |          |                 |
| 9   | 登校  | 関係法規分野と関連する法体系の目的の違いを理解し、同分野の国家試験予想問題で8割の正答ができるようになる                   |   |          |         |          | 小テスト5点          |
| 10  | 登校  | 中間試験   |   |          |         |          | 中間試験20点         |
| 11  | 登校  | 中間試験の誤答の見直しを行い、それを通じ苦手な分野を把握、ポイントを確認する                                 |   |          |         |          |                 |
| 12  | 登校  | 保健・人体分野の国家試験頻出ポイントを理解する  |   |          |         |          |                 |
| 13  | 登校  | 保健・皮膚分野の国家試験頻出ポイントを理解する  |   |          |         |          |                 |
| 14  | 登校  | 期末試験   |   |          |         |          | 定期試験50点         |
| 15  | 登校  | 期末試験フィードバック・成績評価   |   |          |         |          | 小テスト10点         |
| 準備学習<br>時間外学習   | 準備:まよめのプリントを整理するファイルの用意<br>時間外学習:授業のポイントを復習し、記憶する   |  |   |          |         |          |                 |
| 評価方法  | ●習熟度 : 定期50点 口頭試問、筆記式小テスト30点 中間テスト20点<br>◇出席 : 別途規定(出席率2/3を下回る場合は単位認定はなし)に基づきます<br>◇合格 : 60点以上で合格                                       |  |   |          |         |          |                 |
| 受講生への<br>メッセージ  | 国家試験が間近になったこの時期に、一つ一つのポイントをきちんと理解したうえで、過去問の演習をこなせば、時間効率がよく、100%合格できる未来が約束されます。できるところはよいので、自分ができないところを知り、合格を勝ち取れる力と自信を手に入れ、実技試験の励みにしましょう |  |   |          |         |          |                 |
| 【使用教科書・教材・参考書】<br>日本理容美容教育センター『関係法規・制度』適時講師が教科書のポイントをまとめたものを用意します |   |  |   |          |         |          |                 |